

グラウンド整備の方法について

雨の日の次の日などは、グラウンドが結構凸凹になっていることが多いです。そんな時に応急的な整備の方法として、市販されている安価な建築資材（エキスパンドメタル）を利用する方法が有効です。

前任校では、公園整備などに使う専用の整備の器具を使っていましたが、登美ヶ丘北には重い鉄の器具しかなかったので、発案しました。

まず、この整地の方法は、最初に平城東の F 先生に車で引っ張って整地できるということを知ってもらい、参考にさせてもらいました。最初は、1枚で軽トラックで引っ張っていましたが、軽すぎたので2枚を重ねたらちょうどいい重さになりました。2枚でも割と軽いので50ccのバイクで出来ないかな？と思いやってみたところ、バイクには少し負荷がかかりますが、乾いた地面なら意外とスムーズに整地が出来ました。

材料費も5000円までで済むので、チャレンジしてみてもいいですか？

*荷台がなければ、バイクの本体にひもをまわして、後ろでチェーンと結束するのがいいと思います。

①バイクの後ろの荷台に、チェーンの端をナイロンのひもでくくってあるだけです



② 2枚重ねてU字の金具で固定しています。3つ目の穴で固定がちょうどいいです。

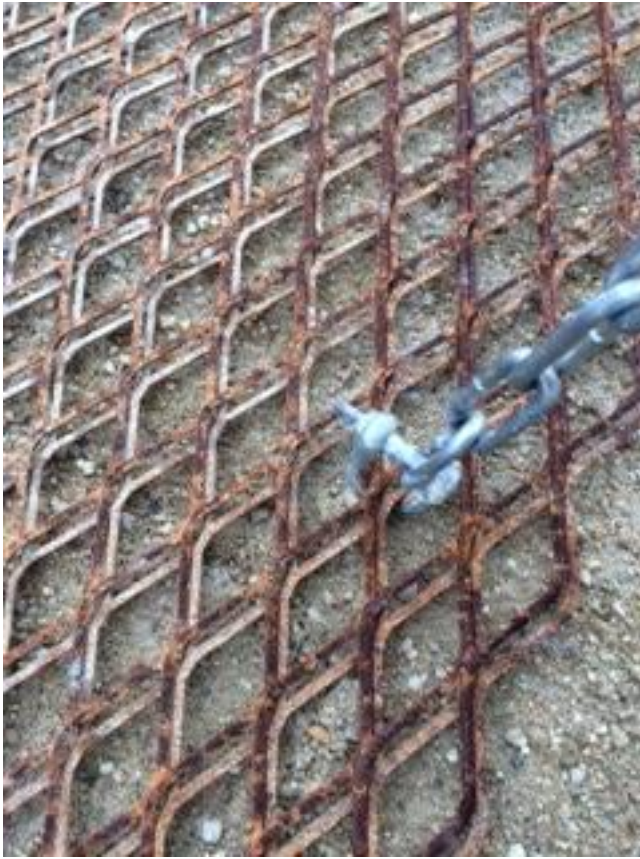






③ 2枚重ねた状態です





④こんな素材（エキスパンドメタル）です。京都の八幡のホームセンタームサシで購入しました。奈良県内のコーナンとかには売っていないそうです。



バイクを使った整備のコツ

- ①セカンドベースを中心に、時計の針回りで回る
- ②時間がなければマウンドを中心に時計の針回り
- ③石が網の下に入って地面にスジが入るので、面倒だがバイクを降りて取り除く。